

南河原中だより

令和6年3月1日発行 第12号

目指す学校像

『笑顔と成長があふれる学校』

生徒・保護者・地域から信頼される学校

行田市立南河原中学校

「当たり前」に感謝を

校長 増田 勝弘

3月になり、13年前に起きた東日本大震災のことを回想する機会が多くなります。東日本大震災は、2011年3月11日午後2時46分に宮城県沖130Kmを震源地としたマグニチュード9.0、最大震度7の大地震です。その日は、行田市は小雪混じりの寒い日でした。今年は、元日に能登半島地震がありました。長い期間の断水や壊れた道路等の状況で、今も避難所での生活を余儀なくされている方々が多くいらっしゃいます。中学生の集団避難の様子や通っていた学校とは異なる学校での授業再開の報道もありました。本校の生徒たちは、「自分たちに出来ることは何か」を考え、募金を行いました。自分たちと同じ中学生の姿から、様々なことを感じ取っていると思います。生徒たちには、当たり前のように過ごしている日々は、当たり前のことではないということを再認識してほしいと思っています。

今年度、本校卒業証書授与式の卒業生の歌は「群青」です。この歌は、東日本大震災の被災地、福島県南相馬市小高(おだか)中学校の平成24年度卒業生と音楽科の小田先生が、震災2年後に作り上げた合唱曲です。2011年3月11日、小高中学校では午前中に卒業式を実施しました。午後2時46分、東日本大震災が発生し、その後の津波によって小高の街は甚大な被害を受け、生徒も4名死亡しました。また、福島第一原発事故によって、小高中学校も小高区外に避難することになりました。その際、多くの生徒たちは学校を離れました。小高中に残った生徒たちも心を痛め、歌が歌えなくなっていたそうです。このような状況の時に、生徒の言葉を小田先生が書き留め、つないでいって歌詞を完成させ、作曲しました。この歌の中に「当たり前が幸せと知った」という言葉があります。当たり前の日常が、どんなにありがたいことで、どんなに幸せなことかを感じながら歌ったり、聞いたりしてほしいと思います。

今年度の学校だよりでも、東日本大震災後に実施した、被災地の、ある中学校の卒業式での答辞を紹介します。「気仙沼市立階上(はしかみ)中学校の卒業式における卒業生代表、梶原裕太君の答辞」です。(裏面)

この答辞からどんなことを感じたでしょうか。階上中学校も被災し、卒業生57名のうち3名は、津波の犠牲になっていました。卒業式が実施された体育館は、避難所となっていました。私は、「生かされた者として」「苦境にあっても、天を恨まず」という言葉の重みを感じます。

生徒のみなさんには、卒業式という節目に際して、何となく生活していくのではなく、多くの方々に支えられていることを再確認してほしいです。梶原君の答辞にもありますが、『「あたりまえ」に思える日々や友達が、いかに貴重なものかを考え』てほしいです。南河原中学校の生徒として、南河原中学校の卒業生として、今生活していることを「あたりまえ」と思うのではなく、感謝の気持ちをもちながら、精一杯生きていきましょう。(令和4年度本校卒業式



卒業生答辞)

夏季休業日と冬季休業日の期間について

令和6年度から、夏季休業日と冬季休業日の期間が、次のように変更になります。

○夏季休業日

令和5年度まで

7月21日～8月26日



令和6年度から

7月21日～8月31日

○冬季休業日

令和5年度まで

12月25日～翌年1月6日

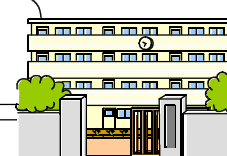


令和6年度から

12月25日～翌年1月7日

御理解の程、よろしくお願いいたします。

なお、このことに関するリーフレットを学校ホームページに掲載しています。



卒業証書授与式について

3月15日に、第77回卒業証書授与式を行います。

来賓の方々を限定させていただく等、感染症対策を行いながらの実施となります。マスクの着用については、個人の判断となりますが、当日発熱等の症状がある場合は、式への参加を控えてください。御理解、御協力をお願いします。



なお、今年度の本校の卒業式には「行田ケーブルテレビ」が撮影に入ります。放送の日時がわかりましたら、連絡メール等でお知らせいたします。



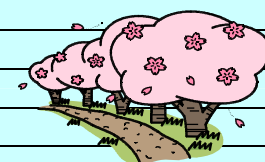
3月 行事予定



日曜	行事予定	日曜	行事予定
1金	県公立高校入学許可候補者発表	16土	
2土		17日	
3日		18月	
4月	県公立高校追検査	19火	
5火	「生命の授業」(3年生)	20水	春分の日
6水	1,2年実力テスト、卒業式全体練習 県公立高校追検査発表	21木	専門委員会、ふれあいデー
7木		22金	給食終了、小学校卒業式
8金	3年生送る会、1・2年学年末保護者会	23土	
9土		24日	
10日		25月	大掃除
11月	卒業式全体練習	26火	修了式
12火	卒業式予行、卒業式全体練習、SC来校	27水	
13水	3年給食最終日	28木	
14木	1・2年卒業式準備	29金	
15金	第77回卒業証書授与式	30土	
		31日	

◎予定が変更になることもあります。

(南中生の活躍をはじめとする学校の様子は、HPでも御覧になれます)



「気仙沼市立階上（はしかみ）中学校の卒業式における卒業生代表梶原裕太君の答辞」

卒業生代表の言葉

本日は未曾有の大震災の傷も癒えないさなか、私たちのために卒業式を挙行していただき、ありがとうございます。

ちょうど十日前の三月十二日。春を思わせる暖かな日でした。

私たちは、そのキラキラ光る日差しの中を、希望に胸を膨らませ、通い慣れたこの学舎を、五十七名揃って巣立つはずでした。

前日の十一日。一足早く渡された思い出のたくさん詰まったアルバムを開き、十数時間後の卒業式に思いを馳せた友もいたことでしょう。「東日本大震災」と名付けられる天変地異が起こるとも知らずに…。

階上中学校といえば「防災教育」といわれ、内外から高く評価され、十分な訓練もしていた私たちでした。しかし、自然の猛威の前には、人間の力はあまりにも無力で、私たちから大切なものを容赦なく奪っていきました。天が与えた試練というには、むごすぎるものでした。つらくて、悔しくてたまりません。

時計の針は十四時四十六分を指したままです。でも時は確実に流れています。生かされた者として、顔を上げ、常に思いやりの心を持ち、強く、正しく、たくましく生きていかなければなりません。

命の重さを知るには大きすぎる代償でした。しかし、苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、助け合って生きていくことが、これからの私たちの使命です。私たちは今、それぞれの新しい人生の一步を踏み出します。どこにいても、何をしていようとも、この地で、仲間と共有した時を忘れず、宝物として生きていきます。

後輩の皆さん、階上中学校で過ごす「あたりまえ」に思える日々や友達が、いかに貴重なものかを考え、いとおしんで過ごしてください。先生方、親身のご指導、ありがとうございます。先生方が、いかに私たちを思ってくださっていたか、今になってよく分かります。地域の皆さん、これまで様々なご支援をいただき、ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

お父さん、お母さん、家族の皆さん、これから私たちが歩んでいく姿を見守っててください。必ず、よき社会人になります。

私は、この階上中学校の生徒でいられたことを誇りに思います。

最後に、本当に、本当に、ありがとうございました。

平成二十三年三月二十二日
第六十四回卒業生代表
梶原 裕太